

平戸で地域医療の夏合宿を開催しました！

8月28日～30日、平戸市で「第21回 夏の合宿 Summer Camp in HIRADO」が開催されました！

長崎大学病院「国境を越えた地域医療支援機構」が主催する、毎年恒例のイベントです。今年のテーマは、

「地域で健康を生み出す力 ～予防・地域協働で支えるウェルビーイングの未来～」。

医学生や研修医、医療・福祉関係者など、さまざまな世代・職種が集まり、平戸市内の医療機関での地域実習や講演、シンポジウム、ワークショップを通して、地域医療について考えました。

当センターの田中健之教授（本機構 機構長）からは、

「ワクチン接種をとりまく日本と中低所得国の現状と課題」をテーマに講演も行われました。

また、当センターの池田恵理子助教も、毎年ファシリテーターとして本合宿に参加しており、今年も運営メンバーの一員として参加しました。

グループに分かれたワークショップでは、「地域で健康になるしかけ」をテーマに、世代や専門を越えてアイデアを出し合い、真剣に、そして楽しく交流しました。

平戸の夏を満喫しながら、地域医療の未来を考える2日間となりました。

ご協力いただいた平戸市の皆さま、医療・福祉関係者の皆さま、そして参加してくださった皆さま、本当にありがとうございました！





